

2024 年度第 1 回日本臨床環境医学会評議員会・総会議事録

日時：2024 年 6 月 9 日(日)10:00-10:45

場所：〒710-0054 岡山県倉敷市玉島長尾 3515 くらしき作陽大学講堂

議長：網中雅仁（第 32 回日本臨床環境医学会学術集会会長）

議事に先立ち、坂部 貢理事長より今後会員数を増やし、学会として社会発信を心がけていきたい旨ご挨拶があった。また、網中雅仁会長より、第 32 回日本臨床環境医学会学術集会実行委員長でもある小倉喜一郎先生が 2024 年 4 月 14 日に急逝されたことが伝えられた。

議題

1. 役員の異動について

会則第 IV 章第 2 条に従い今年度も任期中の坂部 貢千葉大学予防医学センター特任教授に 8 期目の理事長を引き続き務めていただくことが報告された。

香山不二雄理事、木村 稷理事、佐藤 勉理事の 3 名が会則第 IV 章第 11 条により理事定年となることが確認された。

また、総務担当理事に戸高恵美子理事、編集担当理事に吉田貴彦理事、編集委員長に鍵直樹理事が新任となることが承認された。

2. 2023 年度事業報告

① 会員数は 2024 年 3 月 31 日現在 184 名（購読会員 1 名、賛助会員 1 社）、昨年度の入会は 13 名、退会者は 12 名。

② 第 31 回日本臨床環境医学会学術集会は東会長のもと、2023 年 6 月 24 日と 25 日の 2 日間、近畿大学東大阪キャンパス 11 月ホールにおいて開催され、盛会だった。

③ 3 つの分科会も活動は順調で、成果はこの学術集会で報告される。

④ 会員管理事務を 2022 年度から学会支援機構に委託しており、2023 年度も継続された。

⑤ 学会ホームページは水越理事に管理していただくことになり、学会支援機構への委託契約を終了した。

⑥ 学会誌「臨床環境医学」は 2023 年度の 2 号分が発刊済み、バックナンバーの HP 掲載も完了した。また、国会図書館電子収録（e デポ）が開始された。

3. 2024 年度事業計画

以下の 2024 年度事業計画が上記 2023 年度事業報告とともに承認された。

① 会員数増加を図る。

② 第 32 回日本臨床環境医学会学術集會を成功裏に収める。

③ 3 分科会の活動を継続する。

④ 学会誌「臨床環境医学」の発刊を順調に継続する。

⑤ 学会 HP について学術集會の抄録集を中心にアーカイブを充実させる。

⑥ 若手奨励金の検討を進めるとともに、評議員の位置づけなど会則の抜本的改正に取り組む。

4. 新理事・新評議員について

以下の3名が理事会から推薦され、承認された。

理事：戸高恵美子（千葉大学予防医学センター 教授）

新顧問：佐藤 勉（東海大学医学部客員教授、（公財）レイ・パストゥール
医学研究センター研究員

木村 穰（東海大学客員教授）

5. 組織体制について

理事長のもと以下の組織体制が理事会より提案され、承認された。また、これに伴い「臨床環境医学」編集事務局も移転する。

理事長：坂部 貢（千葉大学）

副理事長：吉田貴彦（旭川医科大学名誉教授）、野崎淳夫（東北文化学園大学）

財務担当理事：坂部 貢（千葉大学）

総務担当理事：戸高恵美子（千葉大学）

編集担当理事：吉田貴彦（旭川医科大学名誉教授）

編集委員長：鍵 直樹（東京工業大学）

編集副委員長：佐藤 勉（東海大学）

監事：清野正子（北里大学）

本部事務局：千葉大学予防医学センター

編集事務局：千葉大学予防医学センター

6. 分科会について

現在、継続2年間の初年度にあたる以下の3分科会が紹介された。

① 病院・高齢者施設環境分科会(メンバー17名)

代表：柳 宇（工学院大学）

幹事：尾方壮行（東京都立大学）

② 環境アレルギー分科会（メンバー29名）

代表：平 久美子（東京女子医科大学）

副代表：野崎淳夫（東北文化学園大学）

③ 環境過敏症分科会（メンバー49名）

代表：北條祥子（尚絅学院大学名誉教授）

副代表：黒岩義之（帝京大学）

副代表：水越厚史（近畿大学）

7. 会計報告について

2023年度収支決算書（事務委託先の学会支援センター作成）に基づき坂部財務担当理

事から説明がなされ、2023 年度決算は総収入が 1,921,973 円、総 支出が 1,993,002 円であることが報告された。年度会計としては 71,029 円の赤字であり、また繰越金については過年度について坂部理事の立替分などがあることから数字の修正がある見込みである。

8. 2023 年度会計監査について

上記決算報告に対する会計監査報告書が示され（「繰越金を除き」との但し書き付き）上記 2023 年度会計報告とともに承認された。なお網中議長が清野監事代理で報告を行った。

9. 2024 年度予算（案）について

坂部財務担当理事より 2024 年度予算案が提示され、承認された。実際の支出はかなり抑えられる可能性もあり、繰越金もあるので十分対応できると考えられるものの、今後については検討要。

10. 次々期会長の選出について

戸高恵美子理事が次々期大会長として理事会から推薦、全会一致で承認され、ご挨拶があった。

11. 編集委員会報告とお願い

2023 年度発刊 2 号分の「臨床環境医学」の内容紹介、今後の予定、編集委員の紹介、さらに原稿の積極的な投稿が呼びかけられた。

編集室を東海大学から千葉大学予防医学センターへ移転することに伴い印刷所も変更。これを承認した。

12. 会則改正について

本部事務局移転に伴う「ゆうちょ銀行口座」の郵便局への異動届出のため、一時的に会則第 I 章総則第 2 条に所在地を明記することが承認された。

議事終了後、鍵 直樹次期会長より、来年度の第 33 回学術集会についての以下の案内があり、今後の予定とともに当日の参加が呼びかけられた。

日時（予定）：2025 年 6 月 21 日（土）・22 日（日）

場所（予定）：東京工業大学大岡山キャンパス

西 9 号館（デジタル多目的ホール、コラボレーションルーム）

以上